

講義名	観光地理学			
担当教員	山川 拓也			
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

主題と概要
近年、地域活性の手段として観光が注目されている。地理学において比較的新しい研究分野の観光地理学では、地域における観光関連産業の発達、観光地化に伴う生活や文化の変容、観光活動が地域に与える様々な影響等が研究されており、究極的には観光地の地域性を明らかにすることを目的としている。それらも踏まえ、授業では、パッケージツアー（旅行商品）の行程に組み込まれることも多い「世界遺産」を中心的に取り上げて、地域における代表的な観光資源の特色と観光地の地域性に関する基本的な理解や知識、地域資源を活用した観光まちづくり、観光マーケティングに繋がる気づきを得ることを目指す。

到達目標
<p>本科目は、「対面型」で実施します。到達目標の達成のためには、授業形態や扱う教材等の関係上、対面型での授業が望ましいためです。「オンデマンド型」ではありませんので、時間割通りの時間帯に指定された教室で授業に参加してください。尚、新型コロナウイルス感染症等の学校感染症への感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生には、個別課題への取り組み等によって対応することとします。</p> <p>本科目の到達目標は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産を中心とする国内外の観光資源と観光地の地域性に関する基本知識を学び、観光まちづくりや観光マーケティングとの関連を理解できるようになる。

提出課題
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業終了後、期限内に提出を求める「ミニッツ・ペーパー」（responにて実施） ・毎回の授業終了後、期限内に提出を求める「理解度確認（小テスト）」（Ryuka portal内のmoodleにて実施）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
「理解度確認（小テスト）」に関しては、翌週の授業までにRyuka portal上に正答と解説を記したフィードバック書面を開示する。また「ミニッツ・ペーパー」の内容で解説等を加える必要があると判断したものは、合わせてフィードバック書面に記載する。

評価の基準
<p>下記による総合評価とする。</p> <p>毎回の「理解度確認（小テスト）」の累積得点率： 50% 期末試験（対面方式にて実施予定）： 50%</p> <p>*毎回の出席確認は、「responを用いて嚴格に実施する。 *「ミニッツ・ペーパー」の提出がない場合、教室内に居た者であっても当日の出席は無効とする。 *の「理解度確認（小テスト）」の提出がない場合、得点は0（ゼロ）点となり、成績評価に影響を及ぼす。 *累積の欠席回数が5回以上になった場合、評価を受ける資格がなくなる。（失格/E） *遅刻（時間の長短を問わない）は、2回で1回の欠席としてカウントする。 *ス文庫等の電子書籍類の所持品かつ私的な使用、私談や睡眠の遅延、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。 *ミニッツ・ペーパーの記述内容が優れた場合、一定基準のもとで加算する。</p>

履修にあたっての注意・助言他
観光地理の知識は旅行業界を目指す人だけに必要となる知識ではありません。旅行業以外でも航空や宿泊などの観光関連業界、その他の業界においても、顧客との話題作りやコミュニケーションに役立つ知識となります。また、仕事だけでなくプライベートでも、観光地理の知識を身に付けることは、自らの旅行・観光経験を豊かに幅広いものにしてくれます。自々の立場で観光地理を学ぶ意義を見出し、目的や目標を持ち、楽しみながら知識を得てほしいと思います。

教科書
.使用しない。

プリント資料及び参考文献
<p>プリント資料： 毎回の授業時に講義レジュメを配布し、パワーポイントを用いて授業を実施する。</p> <p>参考文献： きほんを学ぶ世界遺産100 世界遺産検定3級公式テキスト<第2版>（世界遺産検定事務局 著）、世界遺産検定公式過去問題集3・4級<2019年度版>（世界遺産検定事務局 著・編集）</p>

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス（科目ならびに授業の概要説明）、観光地理の視点でみる「観光資源と地域資源との関係」 2. 観光資源・地域資源としての「世界遺産」（概要） 3. 観光資源としての「自然資源」（日本の世界遺産・自然遺産） 4. 観光資源としての「自然資源」（その他の日本の主要な自然資源） 5. 観光資源としての「自然資源」（海外の世界遺産・自然遺産） 6. 観光資源としての「人文資源」（日本の世界遺産・文化遺産） 7. 観光資源としての「人文資源」（日本の世界遺産・文化遺産） 8. 観光資源としての「人文資源」（ヨーロッパの主要な世界遺産・文化遺産） 9. 観光資源としての「人文資源」（ヨーロッパの主要な世界遺産・文化遺産） 10. 観光資源としての「人文資源」（その他の海外の主要な世界遺産・文化遺産） 11. 観光資源としての「人文資源」（その他の海外の主要な世界遺産・文化遺産） 12. 観光資源・地域資源としての「無形文化遺産」（概要） 13. 神戸市内・兵庫豊内における「観光資源」 14. 大阪市・大阪府内における「観光資源」 15. 観光資源と観光まちづくり、観光マーケティングの関係（まとめかえて）

授業形態（アクティブ・ラーニング）								
<table border="1"> <tr> <td>ア：PBL（課題解決型学習）</td> <td>イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）</td> </tr> <tr> <td>ウ：ディスカッション、ディベート</td> <td>エ：グループワーク</td> </tr> <tr> <td>オ：プレゼンテーション</td> <td>カ：実験、フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td>キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）</td> <td></td> </tr> </table>	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク	オ：プレゼンテーション	カ：実験、フィールドワーク	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）							
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク							
オ：プレゼンテーション	カ：実験、フィールドワーク							
キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）								

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>（予習：120分/回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社の図解などから旅行商品パンフレットを収集して観光地・観光ポイントを確認するなど、授業に向けた予習に努める。 <p>（復習：120分/回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考文庫に指定している問題集などに取り組み、知識の定着に努める。 ・毎回の授業後に配布する「動画リスト」に記載の視聴覚教材を視聴し、効果的な知識の定着に努める。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
科目の目標に到達することは、観光関連産業あるいは観光団体等での就業に最低限必要となる観光地理に関する知識を修得し(目標)、地域内の観光資源を活用した観光マーケティング等に接続して考えられるようにする(目標)ことであり、本学と本学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に関連する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業後に実施する「理解度確認（小テスト）」や「ミニッツ・ペーパー」等の課題への取り組みにおいて、moodleやrespon等のICTを活用する。 ・必要に応じて授業中でもresponを使用し、意見収集等を行うことがある。 ・授業では、動画等の視聴覚教材を活用することがある。

実務経験の有無及び活用
<p>「実務経験あり」</p> <p>旅行業および旅行サービス手配業者の実務経験ならびに総合旅行業務取扱管理者（国家資格）の知識を活用し、観光地理に関する知識の教授に努める。</p>

備考
<p>本科目は「座席指定制」にて実施する。進捗状況によって授業の進行方法や内容を変更する場合があります。その場合には事前に告知する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況により、シラバスの修正が発生する可能性がある。</p>